



港区新橋 5-15-5
国鉄労働組合中央本部
☎ 03-5403-1640
発行人 松川 聡
編集責任者 瀧口良二
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

9・13 金子JR東海社長
が川勝静岡県知事と会談
静岡工区着工問題は平行線
9・14 東京五輪汚職事件
で出版大手の角川会長逮捕

9・15 8月の貿易赤字
2兆8173億円、資源高・
円安で過去最大マウクライ
ナ侵攻後初の中口首脳対面
会談、両国は連携強化表明
9・19 エリザベス女王の
国葬に海外元首ら約2千人
が参列。日本では安倍元首相
の国葬中止を求め、1万3千
人が代々木公園に集結

9・21 ロシアのプーチン
大統領が予備役30万人動員
を発表、国外へ脱出意欲増
9・23 西九州新幹線が佐
賀県一部未着工のまま開業
9・27 安倍元首相の国葬
断、G7首脳来日はゼロ

9・30 プーチン大統領が
ウクライナ4州の併合宣言
10・3 臨時国会召集、岸
田首相の所信表明演説から
「格差」が消える
10・4 北朝鮮弾道ミサイ
ルが日本通過、太平洋落下
10・8 クリミア橋で爆発、
ロシアはミサイル報復攻撃

憲法違反の国葬に反対

国会前に1万5千人が集まった

安倍元首相の国葬が9月27日の14時から東京都千代田区の日本武道館で執り行われる中、同時刻から安倍元首相の「国葬」に反対する実行委員会が主催し、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が呼びかけた「安倍元首相『国葬』反対！9・27国会正門前大行動」が国会議事堂正門前で開催され、労働者・市民1万5千人が参加し国葬反対を訴えた。

国葬が始まった14時に国葬に反対するシュプレヒコールで集会は始まった。

主催者を代表して解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが、「安倍元首相は憲法と民主主義を破壊し続けてきた政治家。国葬によつて悪政を美化するわけにはいきません。民意を軽視して国葬を強行した岸田政権をみんなの力で終わらせよう」と挨拶した。

立憲野党からは参加順に、

近藤衆議院議員は、「国民の反対意見に耳を貸さずに

社民党の福島瑞穂党首、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員、日本共産党の志位和夫委員長、れいわ新選組の櫛渕万里衆議院議員が挨拶し、参院会派「沖縄の風」のメッセー

国葬を強行した岸田政権はごりの政治です。国葬に反対するのは民主主義を守るといふこと。自民党政治を終わりにしよう」と述べた。志位委

員長は、「国葬強行で、済んだことにするわけにはいかない。国葬が憲法違反である点は絶対に曖昧にしてはならない。閣議決定で、憲法をくつがえすような国にしてはならない。岸田政権は安倍政治を礼賛し、国民に押し付けようとしている。こんなことは断固お断りしようじゃないですか」と語った。櫛渕衆議院



大行動参加者

議員は、「安倍元首相はカルト教団統一教会の広告塔でした。カルト教団と深く関係のあった議員を囲い、内閣法制局長官まで都合の良い人を指名した」と糾弾した。

続いて連帯挨拶が行われ、前法政大学総長の田中優子さ

んは、「国葬は大日本帝国憲法の遺物であり、法的根拠もない国葬を開議決定だけで実施することは、国会の軽視、国民の無視、民主主義の破壊

です」と強調した。劇作家の坂手洋二さんは、「国家によつて国民に自粛や弔意の強制があつてはならない。国葬には16億円超ともいわれる税金が使われる。私たちは怒らないといけない。こんな政治は選挙で変えましよう」と語った。

連帯挨拶のあと、歌手の小室等さんが歌で国葬反対を伝え、16時に菱山さんの閉会挨拶で国会正門前での大行動を終えた。

国労第8回 女性部中央委員会開催

女性部は、2022年10月8日、東京都・新橋交通ビルB1階会議室にて国労第8回女性部中央委員会をリモート併用で開催し、2021年度の活動の総括と、当面する2022年度の活動方針を決定するとともに、新役員を選出した。

中央委員会では、①労働条

件改善の闘い、②JR各社や関連企業に働く女性労働者の権利確立の闘い、③女性部組織の強化・拡大の闘い等について討論した。職場の労働強化、人員削減、女性特有の問題など、切実な生の声が聞かれた。

本部から宮崎総務財政部長が出席され、秋季年末闘争の



要求内容や組織拡大の状況、次世代を担う青年への期待と激励を述べられた。

中央委員会終了後は、ただちに新常任委員体制をつくり、女性部の先頭に立つて闘うことを決めた。

【新女性部体制】
女性部長(総括・財政) 谷澤由紀恵(近畿)
副女性部長(総務・教宣) 加藤 照代(東京)
中央常任委員(組織・教宣) 矢野 里美(四国)

全労協第34回全国大会開催

しっかりともの申す全労協の闘う方針を確立

全労協第34回定期全国大会が11月10日・11日、東京都・大田区産業プラザPioにて開催された。

今年の大会も新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン参加の代議員も含め2日間の開催で予定の議事を終え第34期(2022年度)活動方針を全体で確認した。

運動では今日の事態を打開することはできない。3年ぶりの2日間大会で議論を尽くし、しっかりともの申す全労協の闘う方針を確立しよう」と挨拶した。

補充議案も加えて、中岡基明事務局長より2021年度経過報告と2022年度活動方針案が提案された。

2021年度会計決算報告と2022年度予算案の提案を久保聡事務局長が行い、会計監査報告を受け、質疑・討論に移った。

オンラインからの発言も



発言する横倉代議員(国労東京地本)

含め代議員からは多岐にわたる熱心な発言が行われ、国労選出の横倉一夫代議員(東京地本)は、東京地本における組織拡大の取り組みを報告し、労働条件の切り下げ、定昇カットなどで若年退職が増えていると発言した。同じく国労選出の五十嵐正志代議員(高崎地本)は、公共交通としてのJRの再生と再国有化、鉄路を守る闘いが、震災時に被災地を支えてきた貨物輸送を再生する道だと述べた。

活動方針に対する質疑に



安倍元首相「国葬」反対! 9・27国会正門前大行動

全労協第34回定期全国大会は議長団に国労の中谷慎一代議員、全水道東京水道労働組合の寺嶋豊代議員を選出し議事が進められた。

議長は「安倍元首相の国葬と旧統一教会と自民党の癒着、その対応に失敗を重ねる岸

田政権の支持率は急落している。東京五輪を巡る汚職問題にもはや驚きもない。ウクライナ情勢も混迷を深め、紛争解決の見通しはまだ見えない。物価上昇の一方で、この国の低賃金構造、格差構造は放置され続けている。権力・資本に擦り寄る労働

者、その対応に失敗を重ねる岸



渡邊議長らの団結ガンバロー

副議長 渡邊 洋(全水道東水労)
岩元孝信(国労)
西村好勝(東京清掃労組)
藤村妙子(太田区職労)
事務局長 野中保夫(全国一般労協議長会)
事務局次長 久保 聡(全水道東水労)
常任幹事 瀧口良二(国労) 他13名
会計監査 2名

り認められない。(瀧)

幕進

河野太郎デジタル担当相は10月13日の記者会見で、紙やプラスチックの健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化すると発表した。マイ

要求内容や組織拡大の状況、次世代を担う青年への期待と激励を述べられた。

中央委員会終了後は、ただちに新常任委員体制をつくり、女性部の先頭に立つて闘うことを決めた。

【新女性部体制】
女性部長(総括・財政) 谷澤由紀恵(近畿)
副女性部長(総務・教宣) 加藤 照代(東京)
中央常任委員(組織・教宣) 矢野 里美(四国)

全国貨物協議会第37回定期委員会開催

あらゆる取り組みを全て組織拡大に繋げる

全国貨物協議会は10月5日、交通ビル地下会議室において、第37回定期全国委員会を開催し、委員の活発な発言を受け活動方針を確立した。

新型コロナウイルスの影響により、一部リモート併用での開催となったが、エリア代表をはじめ、委員・傍聴・来賓の出席のもと、一年間の闘いの総括、「大幅賃上げ獲得をはじめ、「安全・安心な職場環境の確立」「安全輸送の確立」「労働条件改善」「組織強化・拡大」「鉄道貨物政策の実現」「平和と民主主義擁護の発展」など、全国の闘いを教訓に、向こう一年間の闘う方針を確立した。

長から挨拶を受けた。また本部より、岩本書記長、辻業務部長も出席された。

続いて、因泥事務長から2021年度経過報告及び2022年度活動方針（案）、全国貨物協議会運営規則一部改正（案）が提案され、議事に基き討論を行い、委員からの活発な発言で活動方針が補強され、星野議長の集約を受け全体の拍手で採択された。

役員体制については選挙の結果、無投票当選が確認された。【2022年度役員体制】

議長 因泥 一（黒磯機関区）

副議長 鈴木 郁夫（大宮車両所）

工藤 隆志（吹田機関区）

事務次長 眞田 敏幸（新鶴見機関区）

橋本 翼（大宮車両所）

定期委員会議長集約（要旨）

■安全・安定を支える支援策の動向

昨年度、国鉄債務処理法の改正に伴う10年の支援策の延長、今年度から国鉄から継承した資産に対する承継特例も5年間延長された。

貨物調整金も、貨物会社の経営を支えるために無くてはならない重要な制度である。10年間の財源は確保されたが、その後の財源は貨物会社の全額負担も含めて検討する

ことになっている。

自然災害による鉄道の崩壊災害の規模、頻度も、年々拡大している。路線の寸断は鉄道貨物輸送の全国ネットの寸断を意味し、長期的な運休の発生は貨物会社の経営の根幹を揺るがしかねない事態に発展する危険性を秘めている。

■政策的な課題

北海道新幹線開業に伴う並行在来線の問題は、函館線の廃止や貨物専用線、新幹線貨物列車の構想など、様々な議論が巻き起こる中で、国土交通省を中心とした検討会議も立ち上がり、今後の方針を注視している。

国労は11月10日に中央省庁などへの要請行動を行う。数々の「政策提言」の発行はもとより、貨物問題を通年闘争と位置づけ、貨物総行動を起点

に、毎年繰り返して来た中央行動における省庁要請、議員政要請などは、まぎれもなくこの間の運動の到達点である。節目の行動を中心的に担ってきた全国貨物協議会として

も取組みを強化していく。

■労働条件改善について

待機と休養問題、要員問題、郡山車両所の廃止問題、保全体制の修正等、課題は山積している。賃金に次ぐ重要な要求であり、系統ごとに要求が異なっていることも踏まえ、改めて、要求を精査し、春闘と結合した取り組みを強化していく。

■新しい人事制度について

新しい人事制度の課題は多岐にわたっている。特に、公平・公正な評価については、制度設計がレギュラー等級の2級を基本としており、誰もが昇級できる制度が交渉の到達点であり、今後、65歳定年制の確立を求めていく中で、「シニア制度」の抜本的な見直しも含めて、改善させなくてはならない課題である。

一人ひとりの人権が保障される社会を目指して頑張る

本部女性部長 谷澤由紀恵 女性紹介



私の職場は大阪府の天王寺駅近くにある大阪鉄道病院です。通っていた看護学校が鉄道病院附属であったことから、鉄道病院を就職先に選びました。

入職当時は同級生が職場に多くいたので、何でも言い合えて心強かったです。20年以上が過ぎた今となつては数名しか残っていませんが、その頃愚痴や悩みを言い合った仲間とはいまだに変わらない関係が続いています。

医療・介護の現場では、恒常的な人員不足に加えコロナ禍でさらに過密・過重労働となつています。私の職場でも、近頃は特に人員不足のため余裕がない状態です。仕事では常に時間に追われながら業務をこなす状況で、緊張が解けることはありません。命を守ることはありますが、命を守ることは余剰がないというものは、異常時の対応など患者さんの安全にもかかわってくるため、改善しなければなりません。

私が国労に加入したのは、職場の先輩から誘われたのがきっかけです。そして今までの組合活動を続けてきたのは、この仕事を長く続けていきたいという思いと、同じように働く人の体や心の健康を守りたいという思いがあったからです。あの手この手で労働条件を切り下げてくる会社側に対して、組合を通して少しでも改善させていく必要があると思います。

国労に入り学習を重ねてき

引き続き、評価の結果や特に試験結果について各支社、職場で検証し、改めて「公正・公平な制度の確立」に向けて取り組みを強化していく

■23春闘について

要求の根拠は社員と家族の生活改善が根本にあることを大いに訴え、「社員が生き生

きと働き甲斐を持つて仕事ができる」のは、企業の社会的責任であることを再度強く訴え、本部・本社の交渉を押し上げる地方・職場からの取り組みを強化して行く。

この間の実質賃金の低下、企業の内部留保が過去最高を更新する中で、経済再生に向

けた企業の社会的な責任を求め取り組みを強化していく。

■組織強化・拡大について

これまでも繰り返し訴えてきたが、組織拡大は最大の要求闘争であり、あらゆる取り組みを全て組織拡大に繋げ、組織拡大を通年闘争として取り組んでいく。

「静かなる時限爆弾」と言われるアスベスト。吸引して10年から30年で疾病を発症すると言われていたが、国鉄時代はもとよりJR以降も暴露の実態が明らかになっていく。アスベスト被害の補償に向けた国労の闘いがより重要になってきている。

国労東京支部機関紙第32号より一部転載

【Sさんの労災認定経緯】

J R東日本でエルダーのSさんは、昨年春の石綿特殊健康診断で再検査通知が届き、再検査の結果8月にJR東京総合病院から「悪性胸膜中皮腫」と診断され、9月22日から私傷病休暇に入り横須賀共済病院で化学療法を行っていた。今年の1月に13時間に及ぶ胸膜剥皮術を行い、現在は化学療法も終わり経過観察となっている。

昨年、エルダー職場の同僚であった国労の役員に「労災になるのかな？」と相談し、その後、黒沼裁判にも携わっている神奈川労災職業病センターに相談して、横須賀共済病院を紹介してもらい、労災申請手続きを行う中で9月7日に国労復帰した。

今年3月11日に労基署から労災が認められ、16日に労災決定のため東京支社預かりで欠勤扱いとなっている。

アスベスト労災が首切り直前に認定される

東京総合車両センター分会主催の「Sさん労災認定報告・黒沼裁判学習会」が、9月27日に東京総合車両センターにて開催された。

第1部ではSさんのアスベスト労災認定について、NP O法人神奈川労災職業病センターの池田さんから、「認定はされたが問題は多い。会社は事業主証明を拒否したばかりか、労災申請にあたっても国労を代理人と認めない等々があり、6ヶ月間の私傷病休暇期限ギリギリで労基署に確

定された。

Sさんからは、「何とか解決することが出来ました。会社から『3月21日に私傷病休暇6ヶ月でクビになります』と言われて、直前で解決することができ、自身の健康・金銭面でも大変助かりました。国労復帰して1年経ちました。組合員の皆さんには感謝しております」とお礼の言葉が述べられた。

たことで、労働者が苦しめられている今の社会の仕組みや、どうしたら良い方向に変えていくことができるのかを学び、しんどい日々の中でも少し展望を持つことができました。

今までは仕事や組合活動を続けてきたのは、全国にいる組合の仲間が存在が大きいと感じます。多くの人に支えられていることを忘れずに、今後も自分らしくやっていけたらと思います。一人ひとりの人権が保障されるジェンダー平等の社会・平和と民主主義が守られる社会を目指して、国労女性部も奮闘していきま

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障（借家人賠償保障＋修理費用）

借家で火事を起こしたら、
大家さんへの賠償責任が生じます。

賃貸住宅で、あなたの部屋から火が発生。
あなたは、大家さんへの賠償責任を果たさなければいけません。
「借家人賠償保障＋修理費用」に加入していれば、
損害に対して保険金をお支払いします。
また、部屋を傷つけた場合にも修理費用を保障します。

B1424401E2144-20150209

みんなで暮らしをガード

交運共済（JR職域生協）
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合



オプション保障（借家人賠償責任保険＋修理費用）は、共済火災海上保険（株）を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

交運共済 ニュース